

温暖化・エネルギー部会からのお知らせ

前回の会合で決定しましたように、定例会のない月に自由参加のWSなどを開催します。

第一回「ミニソーラー発電製作WS 座学で基礎を学ぶ」(どれだけのものを作りたいのかを学びます。実際の製作は6月頃予定)

日時：4月7日(日) 10:00~12:00

場所：地球市民交流館(前橋市古市町1-33-6)

参加費無料、要申込(070-5572-9624 奈賀まで)

環境アドバイザー連絡協議会 温暖化・エネルギー部会

発行日 2019年3月2日

第11期 第6回会合記録

1. 開催日時

2019年3月2日(土) 10:00-12:00

2. 場所

元気21 Mサポ会議室

3. 参加者 (敬称略)

12名 奈賀、及川、松井、清水、竹田、加藤、小沢、西村、荻野、国安、金子、林

4. 会合内容

1) 部会運営報告

- ・12月8日 地域環境学習会収支報告
- ・2月1日 環境学習会実施報告
- ・寄付金の領収書発行のため部会長印を作成する
質問)

部会に納入する会費はあるのか? ⇒ 会費はない

2) 2018年度活動の振り返り

- ・定例会を隔月で開催、出前講座等による学習会を行った
- ・以下の講演会を主催した
12月8日 地域環境学習会「5 アンペア生活記者に学ぶ省エネ術」at 高崎市役所
2月1日 環境学習会「SDGsと次世代モビリティの普及の取り組みに学ぶ」at サンデンHD(株)

3) 2019年度活動についての意見交換

- ・動く環境教室で水、大気汚染、地球温暖化のニーズがある
その中で地球温暖化、エネルギー問題、再生エネルギーを考えていきたい
- ・自然エネルギー、地産地消、用水路を使った小水力発電等できたらいい
- ・買い物したときのラッピング等、CO2を減らしていこうという考えがない
小学校からの教育も教科がない。減らそうという活動をしたい
- ・住教育と環境教育を一体でやっていきたい。つなぎ目をやっていきたい
- ・焦点を定めてやっていかないといけないと感じている
県を支援できること等
- ・アドバイザーの場で得たものを、子供たちに、地域に還元できるような活動
地域活性化
- ・エコムーブ号、地域に戻ったら子供達を教育していきたい
- ・小型太陽光発電の効果検証をしたい

- ・温暖化・エネルギー部会でないと気づかない領域の講演会（学習会）を実施したい
- ・公共交通・スローモビリティに関する提案をしたい（最終年度か？）
- ・商業エネルギーを低めていくための活動。各家庭でつくる発電の普及
- ・再生可能エネルギーをできるだけ使う活動
- ・公共交通機関を積極的に使う活動
- ・群馬県の地域環境学習事業への応募したいと考えているもの

案1) 地熱発電、バイナリー発電の学習

案2) ESD, SDGs のワークショップ

《本日の結論》

群馬県の地域環境学習事業への応募は例年5月連休明け直後が期限であるため、部会で応募したいテーマがある人は、必要に応じて個別の検討会を開き、申請書類を作成する。

4) 定例会の開催

5月、7月、9月、11月、1月、3月に隔月で開催する

5) 自由参加のワークショップ & 見学会の開催

定例会を開催しない月に開催したい

次回は4月7日（日）午前中 地球市民交流館にて開催

内容) 小型の太陽光発電システムの自前の導入について（座学）

5. 再生可能エネルギー推進計画について（県の出前講座）

講師：環境エネルギー課 高橋補佐（資料1種）

内容)

群馬県の電力消費量・発電量・自給率の推移

エネルギー政策の動向

エネルギー基本計画（第5次）

3E+S、再生可能エネルギーの主力電源化を目指す

長期エネルギー需給見通し

2030年の電源構成

群馬県再生可能エネルギー推進計画

2030年の再生可能エネルギー導入量（目指すべき群馬の姿）

再生可能エネルギーの種類と特徴

太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電、風力発電、地熱発電・温泉熱発電、燃料電池

群馬県の再生可能エネルギーの状況

再生可能エネルギーの導入状況

再生可能エネルギー資源の状況

固定価格買取価格

これからの地域電力のあり方

分散型電源の意義

スマートコミュニティ

事前に提出した質問への回答

6. 次回会合

開催日時 : 5月11日（土） 10:00-12:00

場所 : 前橋プラザ元気21 前橋市民活動支援センター（Mサポ） 会議室

実施内容候補 : 学習会 ※内容決定しました 高商大の萩原先生「ESDやSDGsのSDって何？」

以上